

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療費供給面統計システム	事業開始年度	-			作成責任者
担当部局庁	保険局	担当課室	調査課			村山 令二
会計区分	一般会計	上位政策	医療保険制度の推進に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法第19条	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療費の動向を把握し、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療供給サイドからの医療費データを収集し、体系的に管理することにより、医療機関の種類、規模、特性別や制度別、被保険者・被扶養者別等に医療費動向を分析する。制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料を得る。					
実施状況	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析、公表。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	30	55	73	66	54
	執行額	60	78	83		
	執行率	200.0%	145.0%	113.0%		
	総事業費(執行ベース)	60	78	83		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析については、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料であるため、今後とも必要な経費である。				
	見直しの余地	契約手続きについて、随意契約から一般競争入札に変更するなど、予算執行の適正化に努めてきたところである。今後も、法律改正等に伴う各統計・調査システムのシステム開発について、効率化・予算等を重視した開発に取り組む。				
予算監視の所見率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省



A.みずほ情報総研
83百万円

- ・医療費供給面統計システムの運用支援業務委託
- ・同システムのDB構築業務
- ・制度別医療費動向システムの部分改修及び運用支援業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.みずほ情報総研			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	現行システム運用支援業務	19			
委託費	DB移行業務	47			
委託費	制度別医療費動向分析システム 改修及び運用支援業務	17			
計		83	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)